

「共に創ろう 住みよいいばらき」

産業大県づくり、「いばらき さとやま生活」、結婚・子育て対策などについて、橋本知事がいばらき大使の磯山さやかさん、林家まる子さんと語り合います。

産業大県づくり

磯山・林家 橋本知事、新年明けましておめでとうございます。

知事 明けましておめでとうございます。磯山さんには昨年観光CMで、そしてまる子さんには、「おはよう茨城」のリポーターとして大変ご活躍をいただきました。お二人はとも仲がいいようですが、二人そろっていばらき大使として、大いに茨城のよさをPRしていただけたらありがたいと思っていますのでよろしく願います。

磯山 よろしく願います。

知事 ところで、お二人から見ても、茨城の魅力というのはどういふところですか。

磯山 そうですね、茨城は自然が豊かで、し、何といつても海の幸、山の幸も豊富で、本場に癒やされる場所でもありますし、とても住みやすいところだなと思います。

知事 東京生まれのまるさんはどうですか。

林家 つくばエクスプレスができて、さらに茨城が隣町ぐらいに近くなって、それもすごい魅力の一つですよ。

知事 山手線などでつくばエクスプレスの名が毎日放送されているので、茨城と東京は随分近くなった気がします。つくばは、自然と都会性があり、そして知的な環境があるということ、大いにPRしたいものです。ぜひ、多くの人に住んでいただきたいと思っています。

林家 私も、「おはよう茨城」の取材で何度も茨城に来てはいますが、来るたびに茨城はどんどん発展しているなというのを感じます。

知事 今、県では、「活力あるいばらき」「住みよいいばらき」「人が輝くいばらき」のキャッチフレーズのもとに県づくりを進めています。その中でも特に「活力あるいばらき」という点に力を入れていまして、中小企業の振興とか、最先端科学技術を開発させることと並んで企業誘致に力を入れています。平成十八年の茨城県の工場立地面積は、ダントツの一位でした。そして、県外企業の立地件数も、十七年、十八年と日本一です。例えばコマツ、日立建機、ファナック、中国木材など、世界的にも超優良企業の立地が相次いでいます。

磯山 どうして茨城では、企業の立地が多いのですか。

知事 今まで、高速道路とか港があまり整備されてなかったのですが、現在、高速道路を三本工事中ですし、常陸那珂港も整備されてきています。茨城空港は平成二十一年度には開港しよう



堀川工場長に案内していただきました。(中国木材鹿島工場)

「新春対談」
茨城県知事
橋本昌
タレント×
磯山さやか
（銚田市出身
平成十八年いばらき大使委嘱）
タレント×
林家まる子
（東京都出身
平成十九年いばらき大使委嘱）

しています。このように企業にとつて、仕事を進めやすい環境が整ってきているということが大きな要因ではないかと思っています。

磯山 企業がどんどん茨城に来てくれることで、若い人たちの働く場所が増えたり、産業が発達して地域の活力が生まれたりと、「元気ないばらき」につながっていくということですね。

知事 ぜひ「元気ないばらき」をつくりたいと思っています。

「いばらき さとやま生活」

林家 ところで、知事、県北地域を中心に身近な里山や、美しい海岸、久慈川や那珂川などの清流、また、袋田の滝、温泉など、魅力ある地域資源を生かして、グリーン・ツーリズムや交流・二地域居住を推進していらっしゃいますよね。

知事 さすが「おはよう茨城」のリポーターですね。「いばらき さとやま生活」として、大いに宣伝しようとしています。「お

たためし田舎暮らしをしている森本さん



ためし田舎暮らし住宅」は大変な人気で、既に十数組の方にご利用いただいています。
磯山 時間がゆっくり流れているというか、私は田舎暮らしを体験しているので懐かしかったです。

林家 絶対に茨城に住もうと思いました。
知事 家を探している方のために、空き家情報バンクをつくっていますので、ぜひ活用してください。太子町では三百坪ぐらいの土地を無償で提供することにしたら、十六区画の募集に対して、現地見学会に何と二百五十組の人が来てくれました。大勢の人がこういう環境に関心を持っているのではないかと思います。



磯山 なるべく多くの方に県北地域に住んでいただけたらうれしいですよ。
知事 これまでいろいろな経験をしてきている方と田舎の人たちとの交流が、その地域の発展に、役立つのではないかと期待しています。

結婚・子育て

知事 ところで、お二人は結婚についてはどのようなお考えをお持ちですか。

磯山 なかなか出会いがありません。

知事 国や県の調査でも、五十%以上の人が出会いの場がないと言っているものから、「いばらき出会いサポートセンター」をつくったところです。

磯山 その成果は上がっていますか。

知事 平成十八年六月から昨年の十月まで、なんと九十三組の方が結婚しています。また、八十六組が交際中ということで、みんなうまくいってこれればと期待しています。

磯山・林家 ええー、すごい！

知事 出会いの機会をつくるために、「マリッジサポーター」の制度を設けて、平成十九年十月末現在で三百三十八名の方たちに活動いただいています。ぜひ活用してください。

磯山 少子化といえば、女性が安心して子どもを産んで、そして育てられる環境の整備というのも必要だと思うのですが、県ではどのようなことを行っているのですか。

知事 結婚して子どもを産んだ女性でも社会に出たいという願いは大変強いと思いますので、保育所の整備やファミリーサポーターを確保するなど、さまざまな策を講じています。

その中で、親の就労や子どもの年齢の区別なく、すべての小学生を対象にした、「いばらきつづクラブ」を平成十八年度に実施しましたが、平成十九年度からは、国で「放課後子どもプラン」という形で、同じような制度が始まりました。これを大いに活用してもらいたいと思っています。



放課後子ども教室で遊ぶ子どもたち

磯山 すごいですね。県独自の取り組みが国全体の取り組みになったということですね。
知事 さらに、昨年十月から「子育て家庭

優待制度」を始めました。これは妊娠中の方や十八歳未満のお子さんをお持ちの家庭の方が、例えばホテルを利用したり、お店で買い物したりというときに、お土産をもらえたり、割引を受けられたりという制度で、もう既に千八百店以上に協力をいただいております。

磯山 うれしいサービスですよ。
知事 やっぱり社会をあげて子育て家庭を応援していかねばいけませんし、お店にとってもイメージアップにつながってメリットがあると思っていますので、ぜひ三千店舗まで増やしていきたいと思っています。

それから、安心・安全という意味では、今、お母さん方が心配しているのは産婦人科や小児科のお医者さんが少ないということです。このため、県では「医師確保支援センター」を設けて、安心できる体制をつくっていくと努力しています。

そのほかに、医学生向けの修学資金の貸与や研修医に対しての奨励金、女性医師の就業支援などにも力を入れながら、医療の面でも安心できる体制をつくっていききたいと思っています。

未来を担う人づくり

磯山 最近では、教育の重要性が盛んにいわれていますが、県ではどのようなことに力を入れて取り組んでいるのですか。

知事 小学一、二年生向けに少人数数学級を導入しています。それから、ティーム・ティーチングのための先生を、配置して力を入れています。そのほか、「みんなにすすめた一冊の本推進事業」などによって、子どもたちの学力向上を図っています。

さらに、社会性を身に付けるといことで、小学一年生全員に「おてつだいちゃん」というものを配布したり、中学二年生には、地域社会とはどういうものかということを実際に体験してもらったりしています。さらに、昨年の四月から、県

立高校の一年生全員に、道徳の授業を始めました。これは全国でも初めてです。
磯山 人づくりのほうにも随分力を入れていくということですね。

知事 これからの日本が豊かな生活を維持していくためには、教育が一番大切だと思いますので、人づくりには力を入れていきたいと思っています。

林家 ところで橋本知事、茨城では今年大きなイベントが予定されていますよ。

知事 今年は国民文化祭ということで、文化関係の方が大変楽しみにしていらっしやいますし、また、県民あげて大会を盛り上げようということで頑張っています。茨城からの情報発信も含めて、ぜひ今年十一月の国民文化祭を成功させたいと思っています。

磯山 楽しみです。今日は知事にいろいろなお話を伺って、これまで橋本知事が取り組んできた茨城づくりが着実に進展している、茨城って本当に頑張っているなとあらためて思いました。私たちもいばらき大使の一員として、これからも茨城のPRに頑張りたいと思います。

林家 いばらき大使になりましたので、「おはよう茨城」のリポーターとして、もっともっと茨城の良さをガンガンアピールしていきたいと思っています。

知事 よろしくお願いします。若い人は、なかなか茨城を知らないですよ。ぜひ若いお二人にいばらき大使として、茨城ってみんなが思っているよりずっと良い所だよと伝えてもらえるとありがたいと思っています。よろしくお願いします。

林家 任せてください。
磯山 任せてください。橋本知事も、これからも茨城づくりの先頭に立って頑張ってください。

